

中級 高圧ガス保安技術 第 12 次改訂版
【正誤表 (第 2 版)】

次のように誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
訂正箇所は、↓線又は傍線で示しました。訂正のうえ、ご使用ください。

訂正箇所	正	誤
P.9 下から 5 行目	2. <u>2</u> . 1 温度の単位	2. <u>1</u> . 1 温度の単位
P.18 2 行目	$p = (1.00 + 0.10) \text{ MPa}$	$p = (1.00 + 0.10) \text{ Mpa}$
P.19 3 行目	c : 比熱容量 [J/(<u>kg</u> ・K)]	c : 比熱容量 [J/ <u>kg</u> ・K]
P.19 (1.21)式	$C_{m,p} = \frac{\gamma}{\gamma-1} R, C_{m,v} = \frac{1}{\gamma-1} R$ (1.21)	$C_{m,p} = \frac{\gamma}{\gamma-1} R, C_{m,v} = \frac{\gamma}{\gamma-1} R$ (1.21)
P.49 脚注	* <u>純粋な水、氷、水蒸気の 3 相が平衡状態にあるときの温度をいう (図 1.6 参照)。</u>	* <u>熱伝達において、壁近くで温度分布が急変する薄い流体の層を温度境界層または温度境膜という。</u>
P.103 下から 1 行目	パーフルオロカーボン (<u>PFC</u>)	パーフルオロカーボン (<u>PEC</u>)
P.111 3 行目	圧力 <u>p_h</u> を	圧力 <u>P_h</u> を
P.114 4 行目	$Re \geq 4000$	$Re \leq 4000$
P.136 (6.72)式	$q_i = \frac{P_i}{l} (\underline{p_{i1}} - \underline{p_{i2}}) A$ (6.72)	$q_i = \frac{P_i}{l} (\underline{P_{i1}} - \underline{P_{i2}}) A$ (6.72)
P.136 3 行目	<u>p_{i1}、p_{i2}</u> はそれぞれ	<u>P_{i1}、P_{i2}</u> はそれぞれ
P.161 脚注	* JIS <u>G 0203</u>	* JIS <u>G203</u>
P.170 9 行目	プラズマ <u>溶</u> 射	プラズマ <u>容</u> 射
P.203 表 10.2 「生物付着」の 「原因(物)」欄	藻、雑 <u>菌</u> 類	藻、雑 <u>困</u> 類
P.217 7 行目	T (<u>銅</u> -コンスタンタン: 常用限度 300 °C)	T (<u>鋼</u> -コンスタンタン: 常用限度 300 °C)
P.217 9 行目	熱電対を <u>絶縁</u> する <u>絶縁</u> 管	熱電対を <u>絶縁</u> する <u>絶縁</u> 管
P.219 15 行目	静電容量は <u>絶縁</u> された状態で	静電容量は <u>絶縁</u> された状態で
P.229 13 行目	比例帯という <u>言葉</u> で	比例帯という <u>言葉</u> で
P.320 下から 13 行目	フレアースタックについては、2.3. <u>2</u> a) 参照	フレアースタックについては、2.3. <u>2</u> a) 参照
P.320 下から 10 行目	ベントスタックについては、2.3. <u>2</u> b) 参照	ベントスタックについては、2.3. <u>2</u> b) 参照